

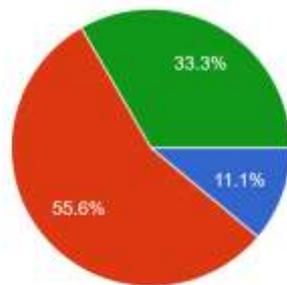
第7回日本視機能看護学会意見交換会セミナー

参加後アンケート結果

2022. 2.15

今回セミナーをどのようにしてお知りになりましたか。

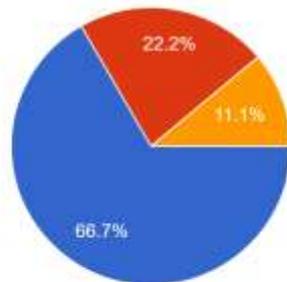
9件の回答



- 日本視機能看護学会のHPにて知った
- 日本視機能看護学会からのメールにて知った
- M Rの方からのお知らせにて知った
- その他

今回のセミナーのテーマについていかがでしたか。

9件の回答



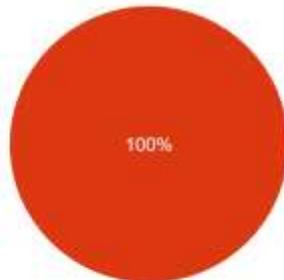
- とても参考になった
- 参考になった
- 普通
- イメージしていた内容と違った

特に参考になった内容は何ですか。6件の回答

- 看護研究の傾向について
- 視機能看護学会（眼科看護研究会）の生い立ちや歴史に反映された演題内容
- 第一回開催から37回開催までの発表内容の統計、眼科看護学会の淵源について。
- 眼科看護から視機能看護の経緯
- 視機能看護の歴史 学会発表項目の移り変わり
- 講演内容の看護研究の動向について

講演の時間はいかがでしたか

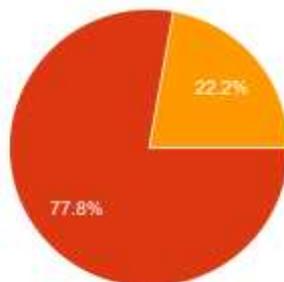
9 件の回答



- 長かった
- 適当であった
- 短かった

全体の時間についてはいかがでしたか

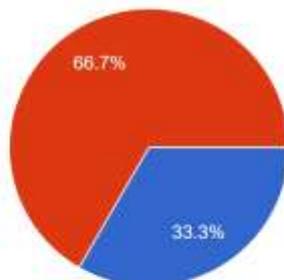
9 件の回答



- 長かった
- 適当であった
- 短かった

日程についての希望があれば教えてください

9 件の回答



- 平日
- 土曜日
- 日・祝日

今後もこのようなセミナー（意見交換会含む）への参加を希望しますか。

9件の回答



今後行って欲しいセミナーなどがあれば教えてください。例) 白内障術後の焦点距離について、ロービジョンケアについてなど5件の回答

・ロービジョンケアについて、興味はあるのですがどのように介入していくのが良いのか、きっかけが難しい。ロービジョンケアに移行していく段階など、他の病院ではどのようにロービジョンケアを行っているのかなど聞いてみたい。

・不穏防止対策、医療連携、入退院支援について

・見えにくい患者さんへの正しい誘導方法 ・講演に出てきた、看護師の関わりから保険点数加算される業務には何があるか ・地域看護や地域で受けられるサービスと患者さんをつなぐにはどうしたらいいか。（自施設は疾患専門病院で、3次医療圏を超えた受診が多く、患者さんへの地域看護を考えたとき、患者さんが暮らす地域のサービスを受けられるように調整できていない。医師が対象になりそうな患者さんに、患者さん自身で役所に行って相談するように説明しているだけという現状があります。）

・眼科 短期入院における看護の実践

・新人研修・教育 白内障術後焦点距離

今回の意見交換会はセミナー形式となりましたが、...続する際の形態についてご意見をお願いします。

9件の回答



そのほかご意見やご質問などあれば以下にお願いいたします 6 件の回答

- 同じ眼科に携わっている方達との意見交換会はとても良い気持ちでした。ありがとうございました。

- 大音名誉理事の話しにとっても感動いたしました。第 30 回の学会でお話されていたことが 記憶にあり、また世の中の流れで学会もオンライン等に変更を余儀なくされていますが 情報の更新、交換、アイデアの共有ができているのは理事の方々のご尽力のたまものだと 感じ感謝しております。

- 今回はお声をかけていただき、ありがとうございました。参加できて、各施設さんも、様々な課題を持って多くの悩みがある事もわかり、当院だけではなく、心強く感じました。今後も交流を深めて意見をお伺いしていけたらと思います。ありがとうございました。

- 眼科看護の情報は他の領域に比べて少なく、眼科の勉強をしに出かけても、いるのは視能訓練士さんばかりです。看護師がいない眼科クリニックも多く、このままでは眼科看護師という職業がなくなってしまうんじゃないかと不安です。今回、見えにくい患者さんのことを思う、たくさんの看護師の皆様のお話が聞けて楽しかったし、嬉しかったです。大変勉強させていただきました。次回は、できれば、師長さんも一緒に参加できるように誘ってみます。

情報交換会を設けてほしいです。 よろしくお願いいたします。

- 学会講演の動画視聴の期間が、もう少し延長されるとスタッフへの声掛けが行いやすいと思いました。